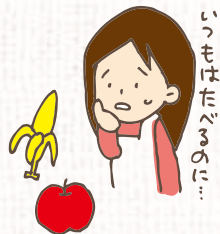


元気がない 機嫌が悪い

小さな子どもは、ことばで症状を正確に訴えることができません。

- ・ 食欲がない
- ・ 何となく元気がなく遊ぼうとしない
- ・ 泣き止まない

等々、様子やしぐさがいつもと違っていると感じたときは、
様子をよく観察して受診のタイミングを判断しましょう。



観察ポイント

基本の観察ポイント

- ☐ おもちゃで遊ぶか
- ☐ 手足は動かしているか
- ☐ 目線は合うか
- ☐ 周りに興味を示す余裕があるか
- ☐ 声が変わらないか
- ☐ 泣き声は弱々しくないか
- ☐ あやすと笑うか
- ☐ 息が荒くないか
- ☐ 顔色は悪くないか
- ☐ 皮膚の色がチアノーゼ、
まだらになっていないか
- ☐ 泣き止まない場合は、どこか痛いところはなさそうか
- ☐ 他の症状が出てこないか（発熱・嘔吐・咳・ゼイゼイする など）



出典：blog.ap.teacup.com

すぐに受診

□ 0歳、特に生後3ヶ月頃までの赤ちゃん

おっぱいやミルクを飲まない、顔色が悪い、
何となく元気がない…
「何かおかしい」と思ったら早めの受診を考えましょう。
夜間休日などで判断に迷うときは、
「子どもの緊急時連絡・相談先」を参考に、
医療機関などに相談してみるのもよいでしょう。

すべての年齢で すぐに受診



- 呼びかけに対する反応が悪い
- 目線が合わない
- ぐったりして起き上がらない
- **泣き声が弱々しい**、大きな声で泣けない
- 顔色や皮膚の**色**が悪い
(白っぽい、青っぽい、まだら)
- **呼吸**が苦しそう
- 繰り返し**吐く**
- **周期的に泣いたり**泣き止んだりを繰り返す
(腸重積を参照)
- 他の症状が出てきて、その程度が激しい
(例：お腹が痛い、頭が痛い など)

診療時間内 に受診

年長児で、何となく元気はないが**目線がしっかり合い**
呼びかけに対する反応もはっきりしている場合には、
しばらく様子をよく観察してみましょう。

- 熱が上がってきたが、**顔色はよく**、
すやすや寝ている
- 1回吐いたが、その後は顔色がよくなり
少し元気が出てきた

こんなときは、家で休ませ
診療時間内の受診の予定を立てれば大丈夫です。